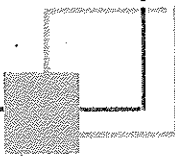


平成28年度
第2学年
アドミッション・ポリシー研究
(北海道旭川東高等学校)



平成28年10月25日(火)実施

年 組 番 氏名

***** プロローグ 自己探求に取り組む

1. 振り返り

これまでの生活の中であなたが一定以上自己資源（時間、労力、関心、お金など）を注いできたものについて答えて下さい。あなたはどのような価値観に基づいてそれを行ってきましたか？右の『価値観シート』から最大5つ選んで答えて下さい（シートになれば自分で考えたものでも構いません。）（事前ワーク）

2. 将来

将来自分が大人になり、社会に出て行く中で、あなたが大切にしていきたいと思うものを右の『価値観シート』から最大5つ選んで下さい。（シートになれば自分で考えたものでも構いません。）（事前ワーク）

3. 探求

上の「将来」で選んだ（最大）5つについて、1番目から5番目まで順位をつけてみましょう。そしてその理由も書いてみましょう。（事前ワーク）

順位	大切にしたい行動原理	理由
1		
2		
3		
4		
5		

<自分の気づき>

価値観シート (ハタモク北海道価値観シート Ver.1.1より)

真実	クリエイティブ	個性
正直	想像性	輝き
健康	設計	直感
尊敬	エネルギー	進化
勇気	バランス	学ぶ
喜び	判断	ポジティブ
信頼	自分らしさ	努力
自由	影響	没頭する
冒険	情熱	積み重ねる
優しさ	好奇心	寛容
愛	自尊	忍耐
調和	自信	安定
美	自己表現	富裕
朗らか	励ます	道徳・モラル
優雅・上品	認める	透明性
洗練	気がつく	完璧
心のオープンさ	受け入れる	正義
楽しむこと	共感	一貫性
刺激	合意	達成感
ユーモア	誠実	貢献
サポート	感謝	感動する
リーダーシップ	思いやり	チャレンジ精神
権威	プライバシー	遊び心
活躍する	自己成長	冒険心
名声	支配する	未知
強さ	教える	
勝利	目的意識	

***** アドミッション・ポリシー研究

1. 第1部のはじめに～「アドミッション・ポリシー」って何？

(ア) 「アドミッション・ポリシー」って何なの？

「アドミッション・ポリシー」とは、どのような学生に来てほしいかに関する、それぞれの大学が独自に持つ考え方、受け入れ方針のことです。

(イ) 「アドミッション・ポリシー」って、大学によって違うの？

大学によってどのような学生を求めるのかは違うので、大学ごとで異なります。大学や学部ごとに研究テーマは違いますし、それに応じて研究者（←将来のあなたのこと！）としての資質や適性も異なりますよね。加えて、それぞれの大学で果たそうとしている社会的責務も異なります。ですから、大学ごとで求める学生像が異なるのはむしろ自然なことです。

(ウ) どうして「アドミッション・ポリシー研究」が必要なの？

あなたとあなたの志望校の求める学生像とが食い違っていたら、お互いに不幸ですよ。互いが互いに対して「こんなはずじゃなかった…」と思うかもしれません。大学側だけでなくあなた自身にとっても、適切なマッチングのためにはA/P研究は欠かせません。

前述の通り、大学ごとで果たそうとしている社会的責務も異なります。これは大学の方が持っている「夢」といってもいいかもしれません。特定分野の研究で世界をリードしよう、超高齢化社会へ向かう日本をどうにか活気づけよう、国際化が進む社会で活躍できる人材を育もうエトセトラ、エトセトラ…。あなたはその大学の夢に共感できますか？もし出来るのなら、あなたはあなたという個人にとって最適な環境で思う存分自分の研究に没頭できるでしょう。出来ないままその大学に進んでしまったら、あなたの大学生活は良くてただ漫然と過ごす4年間になると思います。

(エ) 「アドミッション・ポリシー研究」って、何をすればいいの？

- ① 「アドミッション・ポリシーを知る」：まずは実際にどのようなものを調べましょう。
- ② 「人物像を具体化する」：そのアドミッション・ポリシーが描く人物像はどのような人を、そして実際に何が出来る人を想定しているのか考えてみましょう。
- ③ 「大学の夢を考える」：そのような人を欲している大学は、どんな夢を持って、どんな社会的責務を果たそうとしているのか考えてみましょう。
- ④ 「夢に共感する」：その夢に共感できますか？出来るのならなぜ出来るのか、出来ないのならなぜ出来ないのかを考えてみましょう。
- ⑤ 「自らを省みる」：これを通して大学が、そして社会がどのような人材を求めているのかが分かったら、あなたはそれを受けて何を目指しますか。目標としてどのような人物像を思い描きますか。それに向けて今、あなたは何が出来ますか。考えてみましょう。

それでは、始めてみよう！

(オ) 取り組み方

- ① 「事前ワーク」にあらかじめ取り組む
- ② グループで先生の指示に従い、各「グループワーク」及び「個人ワーク」に取り組む
- ③ 「自分の気づき」及び「活動の振り返り」に気づいたこと、考えたことを書き込む

2. アドミッション・ポリシーを知る

(ア) 自分の進路志望に基づいて2つの大学を決めて、それぞれのアドミッション・ポリシーを声に出して読んでみましょう。(事前ワーク)

(イ) 自分の心に触れた言葉を書き出し、なぜその言葉に着目したのか書いてみましょう。(事前ワーク)

3. 人物像を具体化する

(ア) 上記(イ)に基づいて、具体的にどんなことの出来る人材が求められているのか考えて書いてみましょう。(個人ワーク)

◎A大学(大学・学部名:)

◎B大学(大学・学部名:)

(イ) 上記の2(イ)、3(ア)を発表し合い、アドミッション・ポリシー理解を深め合いましょう。(グループワーク)

<自分の気づき>

4. アドミッション・ポリシーの由来を考える

大学がそのようなアドミッション・ポリシーを掲げるのは、大きく2つの要因によるものです。一つは大学自身が叶えようとしている夢、大学自身が果たそうとしている社会的責務、大学自身が満たそうとしている社会的ニーズの問題です。もう一つはそもそもその大学が据えられることとなった、いわゆる『建学の精神』です。これは、前者を『流行』、後者を『不易』と呼んでもいいでしょう。もちろんこの両者は重なる部分がありますが、敢えてそれぞれの面から大学を捉え直してみましよう。

(ア) 『流行』…大学の夢・社会的責務・社会的ニーズを考える。(事前ワーク)

◎A大学(大学・学部名:)

◎B大学(大学・学部名:)

(イ) 『不易』…建学の精神(事前ワーク)

◎A大学(大学・学部名:)

◎B大学(大学・学部名:)

(ウ) 考えたことを発表し合い、理解を深め合いましよう。(グループワーク)

<自分の気づき>

5. 共感する（グループワーク）

大学が持っている『不易』や『流行』に、あなたは共感できますか？共感しかねますか？なぜ出来ますか？あるいはなぜ出来ませんか？互いに感じることを、考えることを発表し合ひましょう。（グループワーク）

6. 自らを省みる

共感できると感じた大学が求める人物像に近づくために今、何が出来ますか？これからどんなことをしていけばいいですか？これまでのワークを振り返りつつ、考えてみましょう。

(ア) 互いに思いついたことを自由に話し合ってみましょう。（グループワーク）

(イ) 自分の生活にどのように当てはめていくか考えてみましょう。（個人ワーク）

<自分の気づき>

第2学年総合学習 <アドミッション・ポリシー研究> ワークシート

***** 活動の振り返り

ワークの全体を振り返って自分が何を知り、何を感じ、何を考え、何をこれからの高校生活でしていこうと思うのかを書いてみましょう。書くときにはカジュアルなものでもいいので、タイトルをつけてみましょう。(個人ワーク)

()年()組()番 氏名()
タイトル[]